

# 関東龍門会報

## RYUMON NEWS

発行人  
会長 朝倉正昭  
発行所  
関東龍門会事務局  
東京都文京区関口1-28-1-302  
TEL 03-3207-1297  
FAX 03-3207-1297  
幹事長 山下憲男  
yamashita@human-ware.net  
ホームページ ryumonkai.com

### みんなの力で龍門会活動の活発化を！

#### 「同窓という絆」



関東龍門会会長  
朝倉正昭  
(高・昭34卒)

季節は早くも初夏を迎えようとしておりますが、会員の皆様におかれましてはお変わりなくご

壮健の事と大慶に存じ上げます。世情は、「100年に一度の経

済危機」という嵐に翻弄され、生

活不安、雇用不安の暗雲がたち立ち込めております。また、国会も

解散が叫ばれ、献金問題では与党

も野党も揺れ動きこの会報が皆様の手に届く頃はどうかという

るか予測もつかない状況にあり

ます。

ところで、当会報にも詳細な記事

があります。今年には新春から

母校の後輩である朝日嗣也君が

早稲田大学の選手として箱根駅

伝に出場し快走するという明るい

ニュースが飛び込んできました。

多くの加高同窓生がテレビの画面に「鹿児島・加治木高」とい

う文字が出てきたことに、思わず

てる「同窓」とは、一体何なのかということを考えますと、長い人生の僅か数年間であれ同じ学校で

学んだ、遊んだということから出てくる懐かしさ、思いが強い連帯

感となつて心の奥底秘められ、それがいつまでも大事にしたいと思

う「同窓の絆」というものになるのだと考えております。

申すまでもなく、母校は長い歴史を積み重ね、関東龍門会だけで

も約二千二百余名の会員を擁し、同時に会員間の年令差も相当の幅が

あります。そうした中で、会則に掲げた「会員相互の親睦と福祉増

進を図り、合せて母校の発展に寄与する」ということはその『絆』

があるからこそ出来ることと考え、会の活発化を積極的に図りたいと思

っております。

そのためには若い会員の参加促進が不可欠だと考えておりますが

彼らの多くは社会的に最も働き盛りでありますからなかなか参加し

にくいのでしょうか。そこを何とか乗り越えてこの「同窓の輪」に参

加して欲しいと願うところです。

幸い当会役員一同が会の諸活動に熱意をもって取り組んでくれて

いますので、皆で手を携えて新しい企画を打ち出すなど、当会の益々の発展を期したいと思います。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様へ  
平成21年度  
関東龍門会総会(懇親会)開催のご案内  
標記の総会(懇親会)を左記により開催いたします。  
「総会」といっても、かつて加治木高校に学んだ者が、卒年に関係なく、年に一度、一堂に集まって懇談・交流を図るもので毎年ワイワイと楽しくやっています。  
どうぞ皆様お誘い合せの上、気楽にご参加ください。  
多数の方のご来会をお待ちしております。

### 平成21年度の総会(懇親会)は 6月6日(土) 会場:三州クラブ

#### 記

日時 平成21年6月6日(土)

午後12時30分〜 自由懇談

〃 13時〜 総会

〃 14時〜 パーティ

場所 三州クラブ(品川区上大崎1-20-27)

TEL 03-3447-6776

(アクセス)JR目黒駅下車、目黒通りを白金迎賓館の方へ約200m進み、高速道路の交差点を右折し、3

本目の通りを左折、突き当りです。(約10分)

会費 男子 6,000円  
女子 5,000円

学生 無料

★パーティでは懐かしの味：芋焼酎、ツケアゲ、カルカンを用意しています。

また「ホテル宿泊券」、「ホテル食事券」等が当たる楽しい抽選会もあります。

同期生、同じクラブの仲間等を誘い

合わせてぜひご参加ください。



(お願い)  
●案内状に同封した返信用ハガキで、出席・欠席に関わらず、5月20日までに、ご返信をくださるようお願いいたします。  
●なお、ご出席の方で今年「喜寿」を迎えられる方はお申し出ください。龍門会オリジナルのお祝品を会場でお贈りします。当総会の連絡先等は案内状をご参照ください。

“時の人”  
インタビュー  
2009年新春  
箱根駅伝で快走した  
朝日嗣也君  
(早稲田大学卒)



今年の新春、箱根駅伝のテレビ中継を見ていた人は画面に「鹿児島・加治木高」と我々の母校名のテロップが出てきたことに驚き、そして感動したことであろう。

「小学生の時にテレビで箱根駅伝を見て、エンジ色のユニフォームを一目で気に入り、できれば早稲田大学の選手として出たいなと思いました。」と朝日嗣也君は語る。



の早稲田大学に入れると思った。何としても希望を果たすため部活よりも勉学に励んだと照れくさそうに言う。

高校時代は(3000m障害)県大会で7位が最も良い記録、失礼ながら特に傑出した選手

ではなかった。

一年浪人して早稲田の教育学部に合格、陸上競技を本格的に始めた。大学時代は多くの陸上名門高校出身者の中に混じり記録会やロードレースに出てはいたがさほど目立つ選手ではなかった。しかし、黙々と努力を続けて2008年には、5月の関東学生選手権、11月の全日本大学駅伝に出場、ここでの実績が「箱根駅伝」につながり最終学年にして初めて復路の9区(戸塚-鶴見23.27km)の走者として出場、一時は首位を行く東洋大をとらえる走りを見せチームの期待に応えた。この間テレビの画面には『加治木高校』のテロップが繰り返し映し出されアナウンスされたのだ。

加高OBに何かメッセージを...と求めると、「まずは、テレビで見守ってくださった方々、応援や労いの言葉をかけてくださった皆様にお礼を申し上げたい気持ちでいっぱいです。」

そして、「私の人間美学は加治木高校での生活があったからこそであり、それがあって早稲田の選手として箱根駅伝を走れたのだと思っています。加高OBに感動していただいたとしたら私の方こそ幸せです。まだまだ若輩者ですが、箱根駅伝に出た者として、そして加高出身者として振る舞わなければいけないと思っています。どうかこれからも温かい目で見守ってください。」と、どこまでも謙虚で清々しい言葉が返ってきた。

朝日君は、この3月同大を卒業、福岡に本社がある九電工に入社した。これからも陸上競技を続け「九州一周駅伝、実業団対抗のニューイヤール駅伝」に出場するのを楽しみにしていると目を輝かした。

加高の校訓『清新澆刺 質実剛毅 堅忍不拔』を地で行くようなこの若者の今後に期待したい。

加治木高校“TODAY”  
母校は今...

海音寺潮五郎先生曰く、「当時の校風が男はいかにあるべきかを私に教えた...」、その言に代表されるような、旧制・加中の男の美学、かたや加治木高等女学校同窓会の名称「幽芳会」に込められた「気高く優しい強さ」。それら先人のよき伝統を継承しているはずの現在のわが母校はどのような姿になっているのでしょうか。因みに、校是は「清新澆刺 質実剛毅 堅忍不拔」だそうです。そこで、現状の一端をく加高新聞>および加高同窓会事務局へ取材により構成、お届けします。

強いぞ！女子弓道部 総体優勝！

加治木高校女子弓道部は2008年5月に行われた鹿児島県総合体育大会で初優勝を飾った。県大会前は弓道部1年生が集まって四葉のクローバーと先輩たち一人一人のインシヤルが刺繍されたお守りを作り、先輩たちに渡したのだという。そのお守りを身に付けて、選手はどれほど心強かったことか。そのようなチームワークと他者を思いやる気持ち、加治木高校女子弓道部の強さなのだろう。

※編集部注 (2008年7月、長崎で開催された九州大会では健闘及ばず15位。同月埼玉県川越市で開催された全国大会に鹿児島県代表として出場、決勝進出ラインの「的中」をあげたが7校による決定戦に惜しくも敗退した。) (加高新聞 H20・7・18号)



見よ、この雄姿！

School Trip 今ふきの(修学旅行)

団体行動をとりながら、自律、を学び何よりも一生に一度だけの得難い思い出になる「修学旅行」。今どきの加高生は飛行機で北海道に行き、4日間にわたりホテル・オークラに宿泊、スキーをするのだそうです。しかし、海外への修学旅行が多い中、我が母校・加治木高校は依然として堅実なようです。時代、状況は異なっても、この4日間で何ものにも代えがたい多くの思い出を作ったことでしょう。

(加高新聞 H20・3・3号)

(現在の在校生数)

(平成21年2月末現在) 949名(男子462名、女子487名)

(クラス数)

I学年各8クラス (計24クラス) : 平均すると1クラス 約40名ということになります。なお、全クラスとも男女共学とのことですよ。

学名	18年	19年	20年
国立大学	172	168	133
公立大学	33	31	30
大学校	7	3	2
私立大学	223	259	249
国立短大	0	0	0
公立短大	20	15	20
私立短大	27	30	29
短期大学校	2	5	3
専修学校(看護)	6	6	4
専修学校(留学)	25	25	15
就職	6	7	0

(現在活動しているクラブ)

- (体育部) 野球、サッカー、ラグビー、陸上、テニス、バレー、新体操、バスケット、バドミントン、ハンドボール、卓球、柔道、剣道、弓道、空手道、水泳、
- (文化部) 吹奏楽、書道、美術、コーラス、演劇、茶道、家庭研究、百人一首、写真、文芸、放送

## “あの人”を訪ねて

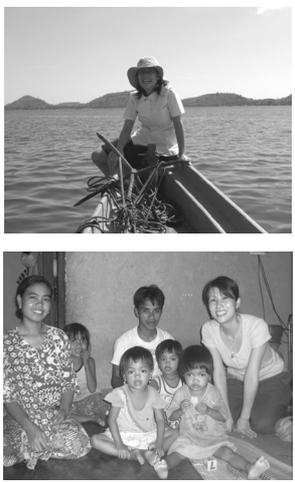


加高出身者で全国的に知られた人、日本だけでなく世界的に活躍している人、人知れず大きな目標に取り組んでいる人…を取り上げるこのコーナー。今号では“平成”卒業の若手奥村佳子さん、モータースポーツの世界で大活躍の柿元邦彦さんのお二人に訪ねていただきました。

### 平成8年卒 奥村 佳子さん

■加治木高校から千葉大学看護学部に進み、助産師看護師 保健師免許を取得。千葉県の市民病院で4年半勤務後青年海外協力隊に参加。インドネシアの東部にあるロンボク島という妊産婦死亡が多く、伝統産婆のいる島で現地の人とともに日本をモデルに作られた母子手帳を使い妊産婦への指導を行った。帰国後は看護師をしながら、小中高校での国際理解の授業に参加し協力隊活動を通して世界の現状に目を向けてもらう活動を行う。

現在は、インドネシア人看護師・介護福祉士候補生の相談役として海外技術者研修協会に勤務。一昨年の加高創立110周年記念行事では「龍門講座」の講師を担当した。今年、第一子誕生の予定。東京都 北区在住。



【生い立ち】福山町に生まれ、自衛隊勤務の父親の転勤に伴い、3歳から7年間を北海道の函館で育ち、帰郷後、中学まで国分市に在住。兄と従兄弟が加治木高校に進んだ影響と、マンガで見た弓道部に憧れ、弓道部の強い加高に進みました。

【高校時代は…】とにかく部活に打ち込み、先輩方が全国制覇したばかりの弓道部で、朝練習の他、昼休みにも練習。弓道部の同級生は、男女10人ほど。応援団にも入り、独自のダンスを

披露したり、昼間の受験勉強のストレスを発散するように毎日夜遅くまで練習していました。今でも実家に帰ると連絡を取り合っていて、飲み会で集まります。

【青年海外協力隊での活動、心に残るエピソード】「伝統産婆」は住民の信頼も厚く重要な存在で、呪文をかけながらお産をするという島でした。しかし、現地の人のやり方を否定せず、伝統産婆と力を合わせ妊婦教室を開き妊婦への指導を心がけました。

心に残ったことは、双子の赤ちゃんが仮死状態にあったとき、「医療者は死なせてはならない」と助けようとする私と、「生きる見込みのない子と自然の流れに従ってあきらめる」という現地の家族。保健スタッフとの考えの違いがあり何が正しいのか、西洋医学か、自然の掟か、未だに答えの出ない出来事がありました。

一方、手術すら受けられなかった子供が、昨年会ったら、可愛らしいワンピースを着て、人見知りしながらも私を出迎えてくれました。その子が元気に成長した姿を見るのができ本当に嬉しかったです。

【故郷の思い出】空港から加治木の町に降りてくると帰郷したという思いを強く感じます。また「龍門の滝」が好きで高校時代は、試験終了日は、友人と制服のまま、龍門滝温泉に寄って、温泉を楽しんでいました。今も友人が鹿児島に遊びに来たときは必ず案内します。

【座右の銘】「後悔しない」死ぬ時に、あれをしとけば良かったと後悔することのないように、チャレンジがあるときに常に挑戦することを続けていきたいと思っています。

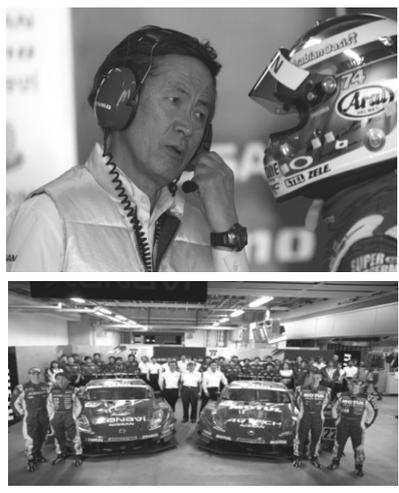
【人生哲学】人それぞれの価値観、感覚を大事にし、自分にとって正しいことは、他の人にとっては違うかもしれない。世間の常識が本当に正しいのか、頭だけではなく自分の感覚が違和感を感じないか、常に敏感に考えていきたい。また、「今、自分ができることは何か?」人のために、本当に救いを必要としている人のために」を大事にしていきたいと思っています。

【先輩へのメッセージ】チャンスは、同じものがまた次に来るとは限りません。どんなことにも挑戦し、自分の感覚のおもむくままに、頑張ってください。素敵な先輩や友人と、多くのことと話し、常に向上心を持ってほしいと思います。

【これからの夢は…】子供が成長し、「第二の人生」挑戦“の時期が来たときに、自分が死ぬまでに何ができるか、世界の女性、子供のために小さくてもできることはないか、常に感覚を研ぎすませておく、なにか海外や、国内でも本当に必要としている人たちのためにボランティア活動ができればいいなと思っています。「この項完」

### 昭和39年卒 柿元 邦彦さん

■加治木高校から鹿児島大学に進み、卒業後日産自動車に入社。海外での活躍を希望し「モータースポーツ」を配属先に選び、エンジンニア、監督として、サファリラリー4年連続総合優勝、スバ24時間レース総合優勝、デイトナ24時間レースでも総合優勝、ルマン24時間レース総合3位等々の輝かしい戦績を挙げたモータースポーツ界の第一人者として活躍した。現在、東海大学工学部教授を務め、2008年には大学チームとしては世界で初めての挑戦となるルマン24時間レースチームに参画。また、加高創立110周年記念講演の講師も担当。東京都在住



【就職してから】自動車へ入社後、日産自動車への入社を志望しました。入社後、当時、エンジンニアが海外に行くにはモータースポーツだと思い多くの競争に打ち勝って希望部門に配属になった。それ以来、エンジン、車両、サスペンションなどのエンジンニアを経験したあと、レースやラリーの仕事で海外を転戦するようになりまして。多くのチャンピオンシップを獲得することができましたが、唯一の心残りでは世界3大24時間レースでルマンだけを制していないことです。

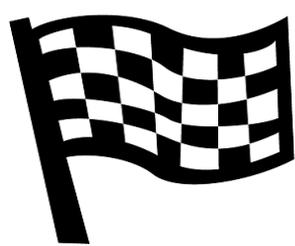
【仕事で学んだことは】海外での仕事は文化の違いとの戦いでした。英仏100年戦争以来といわれるフランス人とイギリス人の確執が、実は大陸と島国という地政学上の問題であり、秀吉の朝鮮征伐や日中戦争に由来すると言われる日本と中国或いは韓国との関係も、同じように地政学の問題であるというところを身をもって知り得たことです。

【座右の銘・人生哲学】「敢えて申し上げると「全ては想うことから始まる」です。何をすることも先ず自分の意思を固めることが大切だと思っています。人生哲学は「仕事も遊びも一生懸命にやる」ですが、これは極めて自己中心的なので周りに迷惑をかけるような心がけています。

【若者へ先輩へのメッセージ】この歳になって改めて、先輩、年配者、親の言うことに耳を傾けておけば良かったと思います。自分一人では限界があり、読書と同じように、多くの経験を学ぶチャンスがあり、先ずは聞いて、その中から取捨選択すれば良いでしょう。

【これからの夢】現在、東海大学工学部教授のかたわら日産レーシングチームの総監督を兼務しており、この立場を活用して、学生たちが「充実した人生とは何か」を考え、「その実現のために何を」するかという、人生の目標らしきものを持つてるようにしてあげたいと思っています。

【この項完】



【生い立ち】蒲生町で終戦記念日に防空壕の中で生まれたと聞いていますが、それもあって私は日本の戦後を象徴的に生きていて常に意識、また日産に入社して1968年が明治維新後100年目であること、これも何かの縁と思っています。いつも見ていた祖父の年令に関係ない柔らかな思考、意欲に大いに驚くとともに、自分もこの様に生きたいと思いました。

【加高時代の思い出】蒲生は錦江湾から奥深く入り込み、山々に囲まれた地形ということもあり、山や川で遊んだ思い出が多いですね。また薩摩特有の気風から、鎖国政策の中、海外に目を向けていた鳥津斎彬を意識し、時々眺める錦江湾の眩しさとも相俟って、早く山中の逼塞状態から抜け出し海外に関わる仕事をしたいと思うようになっていきました。加治木高校に入学したことは初めての外国のようなものでした。始良郡の優秀な学生が集まり個性も様々で初めて知る人格像に大いなる刺激を受けました。



■特老ホームに居る母(96才)に会うために年4回帰省しています。認知症で寝たつきりになった母ですが、声をかけると私を見つめて何とか声を出してくれます。流動食になり食欲が減ってしまいましたがしばらくはこの状態が続くでしょう。できるだけ会える日が多いことを願っています。  
(高・昭26) 酒匂昭男(東京都)

■若い方々の出席をもっと奨励することが本会の必須励行すべきことだと思います。皆で努力しましょう。何かアイデアはありませんか。  
(高・昭26) 古江孝生(東京都)

■会報有難うございました。今度こそは行ってみようと思いつながら足と腰を痛めて居りますので無理の様に思つて居ります。皆様によりよくお伝えくださいませ。  
(高・昭26) 平島ツル(旧姓・有馬)(四街道市)

■目の手術のため出席できず残念です。年々老いを感ずる今日この頃ですが元氣によき人生を乗り越えて行きたいです。皆様健康第一！頑張りましょう。またの再会を楽しみに！  
(高・昭26) 宮原典子(旧姓・庄村)(流山市)

■会報第33号、あの人を訪ねて、を拝見して思うこと。昭和31年春上京し就職活動の厳しさに疲れ果てていた時、鹿鉄と日石の決勝戦を目前で見て森山さんの活躍に勇気と元氣をいただきました。スーッと伸びてズバッと決まる森山投手の目の覚めるような素晴らしき球道は52年経った今も忘れることができませぬ。改めて森山さんにお礼を申し上げるとともにこの記事を書いて下さった方に心から感謝致します。  
(高・昭27) 伊藤良治(旧姓・久保)(狭山市)

■平成20年高卒4期(長野会長と同期)東京関東同期会の幹事を務めますのでよろしくお願ひします。(男)濱田、木佐木、(女)岩井田、藤丸、4名幹事 (高・昭27) 木佐木卓郎(横浜市)

■関東龍門会報をお送りいただき有難うございました。こちらに来て1年が過ぎました。鹿児島や関東地方とは全く異なる自然の変化を楽しんでいます。春には梅と桜、水仙とチューリップなどが同じ敷地の中で同時に咲きます。自分の目を疑いたくなるような自然現象です。秋の紅葉もその色合いの変化が微妙で、延べ1,000km程のドライブで楽しむことができました。しかし真冬の零下10℃位の中では老骨の身には堪えがたい辛苦でした。ご出席の皆様によりよくお願ひします。盛會を祈っております。  
(高・昭27) 新村敏郎(北海道千歳市)

■学園、スポーツともに母校のますますの発展を期待します。同窓会の目的は、同窓生の懇親は勿論ですが、母校および後輩をいかにサポートすることだと思ひます。この方向で執行部のますますのリードをお願いします。(同窓生には、それぞれの専門家もおられるのでフォーラムを開催したらどうですか。)(高・昭27) 吉川悦郎(東京都)

■引揚で列車通学だったので行き帰りと加治木の町も学校往復だけで昔を語り合える友もいません。学校卒業後、福岡、結婚、東京、埼玉とほとんど方言は使えません。淋しいのですが(?)味覚だけは物産展で求めています。  
(高・昭27) 梶原洋子(旧姓・緒方)(さいたま市)

■みなさん、スケートをやりませんか来年は。  
(高・昭28) 大高道朗(相模原市)

■いつも気になりながら都合が悪く参加できません。会報を懐かしく拝見しています。ゴルフ同好会には、当初2回ほど参加しましたがその後ご無沙汰しています。総会のご盛會を心からお祈りしております。  
(高・昭28) 肥後芳文(狭山市)

■毎回ご案内をいただき感謝しています。いつも他用件と重なり出席できず残念です。ご盛會を祈っております。  
(高・昭28) 宮永直幸(横浜市)

■囲碁同好会を幹事会と合わせて行うと時間が少なく幹事に会におおられてる感じがし、そのために参加しなくなつた者もいます。参加者が少なくなるのもそのせいでは？出来れば別々に開催してほしい。  
(高・昭29) 上原孝司(横浜市)

■相変らずNPO法人に所属し、単独では通院、買い物のできないお年寄りや障害者の人達の世話をしている。早いもので、この活動についてから約9年が経ちました。会の成功を祈っております。  
(高・昭29) 西次雄(竜ヶ崎市)

■24時間フリータイムの毎日ですが「矩を離えず」を心掛けています。テゲテゲの日々でしょうか。  
(高・昭29) 町田東(入間市)

■残念ながら年1回の山旅の予定と重なってしまいました。建国60周年を迎えたマレーシアに住む友人のとこへクラスメートと共に旅をしました。高校卒業以来の再会という友人もいました。学生時代の友というのはすべての垣根を外し



てくれるものですね。宗教も違う多くの民族がそれぞれ立場を尊重し合つて国造りをするの国に感動さえ覚えませぬ。  
(高・昭29) 殿村圭子(旧姓・田野崎)(東京都)

■会報33号で紹介された森山義親君とは加高1年時同級生だった。昼休み時間に私がプロ野球談議をしていて彼は「園田は野球評論家だ」と批評した。3年時商大対加高の試合が加高グラウンドで行われた。監督は安楽先生、彼はレフト前ヒットを打つたが、次打者のヒットに関わらずセカンドでアウトになった。足を骨折していたからである。  
(高・昭29) 園田恒明(草加市)

■昭和31年夏頃「ベースボールマガジン」に彼の投手姿が出ていた。その2、3カ月後鹿児島市電の中で、私は森山君、松田君(野球部)と偶然出くわした。彼の父と私の父とは旧制大口中学校の第1回生だった。(高・昭30) 園田恒明(草加市)

■このところ歩行障害により、残念ながら、遠方への外出を制限しています。今頃になって「社会生活の基盤は足腰」を痛感している昨今です。  
(高・昭30) 長谷場純一(横浜市)

■6月1日鮎釣りが解禁になります。同好会のメンバーと一泊旅行の先約のため今回も不参加で申し訳ありません。盛會を祈念申し上げます。  
(高・昭30) 前原逸夫(東京都)

■同期の友達が声をかけて下さいましたので出席させて頂いたことに致しました。よろしくお願ひ申し上げます。  
(高・昭30) 川口登喜子(旧姓・大堂)(稲敷市)

■「参加」は何年振りとなりますが年を重ねることに出席したくなりました。  
(高・昭30) 工藤トシ子(東京都)

■30年間にわたる教職生活をピリオドを打って早や10年余。定年前に早目の退職を志願した小説、エッセイ等を書き始めました。最新作はエッセイで「未完のピアソナタ『熱情』」愛の喜びと哀しみの追憶(20年1月29日初刷)を上梓しました。他に、娘夫婦が仕事をもつているので、孫の勉強を見てやりながらの母親代わりの面倒も見ています。  
(高・昭30) 安尾洋子(我孫子市)

■33号の会報で、原田実さん(昭29卒)のインタビュー記事懐かしく読ませてもらいました。私の自慢は高校時代原田さんに直接囲碁を教えて頂いたことです。精進不足で未だに3級に甘んじています。  
(高・昭31) 武田憲昭(東京都)

■毎年幹事会皆様のご尽力に感謝します。高令者運

転教習やパーティなどに忙しくしています。  
(高・昭31) 新村菊雄(多摩市)

■例年同期生に呼びかけて同期会を持つとう話しているのですが今年は年忌祭忌と重なり出席できません。他の同期生が大勢集まって盛會になるよう願っています。  
(高・昭31) 堀之内亨(町田市)

■総会当日は仕事の予定が既に入つており残念です。いつも同期会も同時に開催され楽しみにしていただけないか。  
(高・昭31) 森山道宏(流山市)

■お世話いただいている方々にいつも感謝いたしております。皆様のご健勝を祈ります。  
(高・昭32) 細川時子(旧姓・堂免)(東京都)

■平成20年1月から派遣社員勤務で月に半分は出勤しています。ご盛會を祈ります。  
(高・昭34) 出水克明(横浜市)

■両親が亡くなり2人きりの生活になりました。妻が病氣になりまだ全快していません。いつも参加できなくて本当にすみません。  
(高・昭34) 大高紀昭(藤沢市)

■会員諸氏の健康を第一に願っています。役員の皆様にもいつも感謝しております。  
(高・昭34) 上西康生(川口市)

■34年卒の諸兄が当会で重要な役割を担ってられることに敬服、感謝しております。ご苦勞様です。  
(高・昭34) 小久保紀光(埼玉県)

■目下、大学2校、高校1校で非常勤講師を務めています。久しぶりの同窓生諸兄姉との再会を楽しみにしています。  
(高・昭34) 松田勝(あきるの市)

■関東龍門会報有難うございました。皆様のご活躍に心うたれます。会の盛會をお祈りいたします。  
(高・昭34) 安部昌子(旧姓・佃)(船橋市)

■毎年6月第一土曜日は主人の兄弟会と旅行の計画が決まっております。今年は出席できません。役員の方お世話になります。  
(高・昭34) 中野ひろみ(旧姓・藏満)(東京都)

■総会当日は町内会の行事(一泊)のため参加できません。(朝倉会長様)7月31日〜8月2日高校総体・新体操(男女)が地元、上尾市で開催されます。ぜひおこしください。  
(高・昭35) 稲留節穂(上尾市)

■あと1カ月で定年です。元氣でまだまだ働きたいのですが…。定年後は毎月のように旅行の予定

があります。これからは三州クラブへも出席致したいと思ひます。

「あたいもきばいもうした。だれんごっしす。」  
(高・昭36) 高橋ミチ子 (旧姓福永) (春日部市)

■国分小31年卒の同窓会関連行事のため欠席させていただきます。先日江戸城址と天守台を見学し篤姫の活躍の場を確認してきました。役員の皆様お世話様です。ご盛會を祈念申し上げます。  
(高・昭37) 日高昭 (神奈川県葉山町)

■年に一度の総会、人は皆それぞれの出会いを感謝することでその絆を深められるのだと、知人、友人の絆を大切にしながら感謝の心をもって毎年総会で再会できますよう期待しています。  
(高・昭37) 藤島義行 (藤沢市)

■昨年、出席させていただき懐かしいお顔にお会いでき大変楽しい時を過ごさせていただきました。今年は何だにたにお会いできるか楽しみにしています。  
(高・昭37) 武藤テル子 (狭山市)

■2007年末(中国・上海駐在) 帰国しました。  
(高・昭38) 新富征人 (川崎市)

■せつかくご連絡を頂戴しながら申し訳ありません。所用がありますので欠席させていただきます。よろしくお願ひいたします。  
(高・昭38) 二之方信良 (流山市)

■4月1日より東海大学工学部教授とNIMS MO (ニスモ) の仕事を兼業しており、なれないせいか大変な思いをしております。  
(高・昭39) 柿元邦彦 (東京都)

■リタイア後、第2の仕事として修学旅行の顧問として勤務しています。毎週日曜日は夜間男性合唱団で練習しています。神奈川県座間市、湘南地区、ドイツとのジョイントコンサート、種々の慰問コンサートなど多数のコンサートをこなしています。ぜひ近くの方は出でてください。海江田さん同期生の方々、楽しい会になりますよう祈念しています。当日は仕事で参加できません。残念です。  
(高・昭40) 松下憲三 (座間市)

■ご無沙汰です。ご案内を戴きましたがあいにく当日は既にゴルフクラブの記念大会が宿泊をともない設定されており幹事のため出席しなければなりません。よろしくご了承下さい。盛會をお祈りしています。  
(高・昭40) 溝口忠文 (小平市)

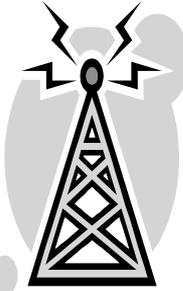
■定年を5年残して昨年3月退職。今は本の翻訳出版の為ほとんど過してしています。総会当日は都合により参加できません。皆様の「健勝を祈りま

す。会報33号の森山さんのインタビュー記事で懐かしく拝見。優勝後加高のグラウンドで加工高との親善試合を見物しました。  
(高・昭40) 森山浩二 (東京都)

■昨年12月に定年退職し田舎に帰りました。今後は神職として奉仕する予定です。  
(高・昭41) 木場久男 (加治木町)

■関東龍門会には1年おきの参加になってしまいました。同期も集まらなくなり寂しいかぎりです。一応声は掛けておりますが。来年こそはと思っております。山下君(龍門会事務局長)も頑張ってください。  
(高・昭41) 中村順一 (東久留米市)

■中国の上海、深圳で10年間仕事をしてきました。経済の発展とともに人々の生活も豊かになり自家用車が増え、スーパーマーケットやデパートには贅沢品があふれる様を目のあたりにしてきました。逆に日本の田舎の寂れかたを見ますと歴史が逆回転したかのように感じます。  
(高・昭41) 藤井誠 (厚木市)



■母校の110周年記念行事が盛大に行われた様子とてもよく伝わりました。各分野で多方面に活躍の同志の方々嬉しく思いました。60才からの人生を地域のボランティアを通じて多少とも貢献する覚悟です。総会の盛會を祈念しております。幹事の方々「苦勞様です」。  
(高・昭41) 小濱光子 (旧姓・徳森) (厚木市)

■いつも総会に参加できなくて申し訳ありません。会報楽しく読んでいます。いつの日かゴルフコンペに参加したいです。  
(高・昭42) 道畑美恵子 (旧姓・谷川) (横須賀市)

■今回は予定があり出席できません。次回を楽しみにしております。なお、私は蒲生町の出身ですが蒲生町の方はいらっしやるのでしょうか。  
(※編集部註 浪川) (高・昭43) 国生卓 (川崎市)

■父の介護のためしばらくは参加できそうにありません。ご盛會をお祈り致します。  
(高・昭49) 松野下淳子 (旧姓・田村) (さいたま市)

■総会案内に同封されていた会報の改訂版の出来映えは素晴らしいですね。(読み応えがあります) 作成御苦労が報われそうですね。本当にお疲れ様でした。  
(高・昭43) 前原澄雄 (東京都)

■最近の趣味は、そば打ちと絵手紙。私の実家は加治木・新道通りの大黒屋(そば屋)。そば打ちをする度に、毎日そばを作っていた父を思い出します。今は兄が後を継いでやっています。関東龍門会に初めて出てみようかと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。  
(高・昭46) 橋口恒子 (東京都)

■今回初めてゴルフコンペに参加しようと思っております。成績表を見ると皆さん先輩ばかりで女性はいらっしゃらないようですが女性の参加もよろしいのでしょうか？また秋季も同じコースで開催されるのでしょうか？年2回でしたら1回は千葉方面で開催していただけたら有難いのですが！  
(高・昭47) 米倉道代 (旧姓・郡山) (東京都)

■1月末に千葉県から鹿児島県へ転居致しました。時々加治木高校の前を通り懐かしんでおります。  
(高・昭49) 水谷律 (旧姓・大久保) (始良町)

■仕事で福岡在住となっています。  
(高・昭52) 山崎幸一 (柏市)

■我々52年卒は今年50才になります。それで平成20年11月に同窓会があります。  
(高・昭52) 多田香代子 (旧姓・渋谷) (横浜市)

■早いもので子供が大学生と高校生。私も今青春。子供達の高校野球の応援に熱くなっています。春夏、秋の高校野球神奈川大会観戦に休日には球場へ足を運んでいます。さて、我が母校、加治木高校は：  
(高・昭54) 大岩根正浩 (綾瀬市)

■110周年記念事業の加高の制服のリカちゃん人形を購入しました。夏の水色のブラウスもあり、懐かしく思いました。周りの友人も自分の高校のものがあつたら欲しいと、うらまやしがられました。記念品という決まりきつたものが多い中とてもよい企画だと思いました。母校の制服というものはいつまでたつてもいいものですね。  
(高・昭56) 市来さゆり (旧姓・茶園) (土浦市)

■鹿児島での夏の同窓会には3年前参加させていたいただきましたが、懐かしい顔に高校時代に戻った気がしました。  
(高・昭60) 吉村智子 (旧姓・外村) (日野市)

■会報楽しみにしています。  
(高・平成4) 五反田健彦 (浜松市)

〈訃報〉ご冥福をお祈り申し上げます

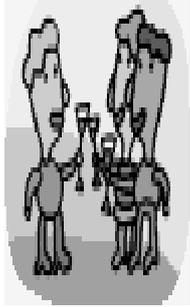
- (敬称略)
- 酒匂幹夫 (中・昭3)
- 山路 剛 (中・昭20)
- 浜崎 正文 (中・昭22)
- 岸園 司 (高・昭24 元 関東龍門会顧問)
- 米増 而立 (高・昭26)
- 松田昌典 (高・昭28)
- 岩下康三郎 (高・昭33)
- 塚本良雄 (旧姓 山口 高・昭35)
- 内谷孝教 (高・昭50 関東龍門会幹事)

岸園 司君の逝去を悼む

(高2回昭25卒) 今村 彬

卒業して今年には還暦の60周年、昨年は思いもしない出来事がありました。お互い竹馬の友と認め合い親交を重ねていた岸園司君が腰の痛みを訴え8月23日(土) 信濃町の慶応病院に入院し25日(月)手術を受け26日(火)に脳梗塞を併発して、28日(水)に帰らぬ人となり、あまりに早い急ぎの旅立ちでした。彼の一生は、努力とチャレンジの連続で、会社に入社以来創業者の川崎宗造翁のもとで研鑽し小企業を技術集団に育て上げ「店頭から」一部上場をも果たし社内では「中興の祖」と言われ「世の為、人の為」とよく言っておりましたが、まだまだやり残したことが沢山あった事と思ひます。母校創立110周年記念には祝賀会、懇親会また同期会と、共に出席した元氣な姿が今でも脳裏を離れません。「無念」の一言だったと思ひます。ご冥福をお祈りします。 合掌

# 同期会 情報



## ■加中44④同期生諸兄へ

今年の定例同期会は、11月13日金曜日の予定です。詳細は後日連絡いたします。昨年の傘寿に続き今年後半のメデタイお年頃です。また、大声を張り上げて加中校歌をドナリ青春の想い出を語り明かしましょう。

我々同期生は④のつく日本と加中の歴史的生き証人です。昭和史の語り部としても、いついつまでも元気で後生に語り伝えましょう。

幹事 深川・飛松・南川・西田・上箇

上箇 悟

## ■「かじの木会」(昭和29年卒業関東在住の同期会)

6月10日(水)三州クラブにて開催します。  
幹事 上原孝司

## ■加高三期「てんがらもん会」(昭和26年卒)

行事予定  
1.有志の集い 1、2、3、5、7、10、11月(年7回)15、20人参加で実施しています。  
場所：東京理科大 理想倶楽部

2.喜寿旅行4月27、28日(一泊二日)  
東京駅→松島→秋保温泉→東京(バス)

3.夫婦会 9月下旬  
場所：青山ダイヤモンドホール

4.総会12月5日(土)午後1時  
場所：東京理科大 理想会館

酒匂昭男

## ■高校第5回卒業関東在住者同期会(くすのき会)

1.昨年11月5日鎌倉で開きました。  
鹿兒島、関西からも参加があり、28名の会となりました。今回参加しなかった諸兄姉の今後の参加をお待ちしています。

2.同じく、第5回卒業関東、関西合同同期会を本年5月27日三島で開催します。振るつてご参加ください。詳細は別途連絡いたします。

久保 忠

## ■加高7期関東地区同期会(昭和30年卒)

「第29回東京さおふう会」  
今年の「さおふう会」は次の日程等で開催する予定です。

同期生のご参会をお待ちしております。  
日時：平成21年11月14日(土)午後5時  
会費 二七 一万円 オゴ 8千円  
「東京加治木会」(加治木にわかりのある方の会)  
日時：平成21年10月31日(土)午後1時 三州倶楽部  
長谷場純一(045189314533)

## ■加高11回生(昭和34年卒) 関東地区同期会

30数年続いている「関東地区・同期会」は平成21年は1月31日(土)に22名が参加して品川の「和彊館」で開催しました。なお、来年から寒い時期を避け3月最終週の土曜日に開催することになりました。(平成22年は3月27日(土))。

また「同期会・全国大会」は2年ごとの持ち回り(鹿兒島、関東、近畿)開催で今回はこの秋、鹿兒島で行われます。後日案内があると思います。  
(関東地区) 幹事代表 満田泰啓(049214613420)

## ■加高12回卒(昭和35年卒)「花の木会」

毎年12月の第一土曜日に開催していますが昨年は19名の参加がありました。今年は12月5日(土)に開催の予定です。  
学年幹事 稲留節穂(048177416549)

## ■37会(サンナナ会)

高14期の皆々様65歳の今日まで健康で生きてきた証の節目に皆様と久しぶりに旧交を温め、酒を酌み交わし加高時代に戻って懐かしいひとときを楽しみませんか、是非多数のご参加をお待ちしております。(幹事 藤島義行)

## ■加高22期同期会(昭和45年卒業)

本年1月24日(土)に第二回同期会を16名の参加で和気舘々と実施しました。

第三回同期会開催の要望が多く10月に実施予定です。日時、場所が決まり次第「龍門会ホームページ」(www.ryumonkai.com 龍門会ドット混む)に記載します。奮っての参加をお待ちしております。皆で昔に戻り楽しませよう!!  
川井田信雄(0901169214785)

## ■加高43年卒同期会(昭和43年卒)

我々も暦がひと還りの年となり、その区切りとして、今年の総会・懇親会を還暦同窓会として集い盛り上げましょう。当日は母校より同期の上今恒雄校長と中村万里子先生も出席しますので是非とも参加してください。  
前原澄雄(031549615843)

# 同好会 ニュース



## ゴルフ同好会

ゴルフ同好会では毎年春と秋の2回コンペを開催しています。同窓ということも初参加の方、女性の方もすぐ打ち解け和気あいあいと楽しいゴルフ会です。また毎回「新ベリア」で競技していますのでスコアだけでなく運がよければ上位入賞も...。多くの方の参加をお待ちしています。

「2009年度 春季コンペ」  
5月19日(火) 鶴舞カントリークラブ・西コース  
スタート：9時34分

春季コンペの参加申込みは当紙発行日時の関係上、TELで、直接 幹事へお申し込みください。秋季コンペ(11月に開催予定)については「総会案内はがき」に(参加)意志を表記ください。別途該当時期にご案内ハガキを差し上げます。  
「幹事」行村紀男  
TEL:043・279・7821

## ★2008年春季大会成績(5月19日(月)開催)

(武蔵野ゴルフクラブ)

## 初参加の女性ゴルファーが見事優勝!

- 優勝 米倉道代(昭47年卒)
- 準優勝 西山 司(昭34年卒)
- 3位 満田泰啓(昭34年卒)
- 4位 松元典郎(昭34年卒)
- 5位 最勝寺久尚(昭49年卒)
- ベスグロ 米倉道代(スコア85)



## ★2008年秋季大会(11月17日(月)開催)

(武蔵野ゴルフクラブ)

- 優勝 城 正之(昭26年卒)
- 準優勝 宗 敏子(昭35年卒)
- 3位 斜木丈二(昭34年卒)
- 4位 白井ミチ子(昭36年卒)
- 5位 川井田 信雄(昭45年卒)
- ベスグロ 斜木丈二(スコア86)

## 囲碁同好会

恒例の囲碁同好会は平成20年5月と平成21年1月の2回行われた。5月は幹事会に合わせ、1月は幹事会新年会に合わせたいずれも懇親会に合流された。その成績は左記の通りです。一方、この囲碁同好会は年々参加人員が少くなる傾向に歯止めがかかっていません。囲碁は、頭の体操であると同時に、余暇の有効な過ごし方になります。若くて頭の柔らかいうちに始めたほうが上達します。本年も春季大会を5月23日(土)に行います。同好会に未登録でも興味をもたれた方は、  
「幹事」海江田裕まで。  
TEL046718614068

## 春季(5月31日、参加者8名)

- 優勝 海江田裕 5段(高、昭40年卒)
- 2位 長野忠雄 8段(高、昭30年卒)
- 3位 立山一夫 3段(高、昭29年卒)

## 新年(1月17日、参加者7名)

- 優勝 玉利勝正 5段(高、昭26年卒)
- 2位 長野忠雄 8段(高、昭30年卒)
- 3位 大山英樹 2段(高、昭26年卒)



## 関東龍門会の活動について

20年度は下記のような活動を行いました。

### 平成20年度事業実績

春季ゴルフコンペ	5月19日(月)
囲碁大会	5月31日(土)
総会・懇親会	6月7日(土)
秋季ゴルフコンペ	11月17日(月)
囲碁大会	21年1月17日(土)

21年度については、これをベースに計画を組んでおります。会の活動について新たなご提案があればTEL、メール、ホームページへの書き込み、等でお知らせください。

### 平成21年度事業計画(予定)

春季ゴルフコンペ	5月19日(火)
囲碁大会	5月23日(土)
総会・懇親会	6月6日(土)
秋季ゴルフコンペ	11月(開催日未定)
囲碁大会	22年1月16日(土)

